



# 丸子宿

東海道二十番目の宿場町丸子宿。最も大きい府中宿(静岡)の隣、本陣・脇本陣・旅籠二十軒という人口八〇〇人の由比宿と並ぶ小さい宿場町でした。鎌倉時代は「麻利子」、その後「丸子」に改称。東海道になってから「丸子」になったといわれています。また他の地域とは違い西から二丁目・三丁目と続くなど上方の影響がありました。小さい宿場町でしたが、安倍川の川止め時には大名行列など大変賑わっていたといわれています。

東海道中膝栗毛の作者である十返舎一九は、府中の生まれ。そして登場人物の弥次さんは府中、喜多さんは、江尻出身の設定なんですね。ここ丸子宿では、名物のとろろ汁を注文するのですが、夫婦喧嘩がはじまり、結局食べられずじまい。だからなのか、歌川広重は浮世絵の中でとろろ汁を食べさせてあげたと言われています。



**丁子屋 ちょうじや**  
慶長元年(1596年)創業、「東海道五十三次之内丸子名物茶屋」として描かれた丸子宿名物とろろ汁の老舗。静岡県最古の飲食店。現在の店舗は浮世絵を再現するために江戸初期の古民家を移築。国登録有形文化財。



**とろろ汁**  
自然薯をすりおろし、だし汁と味噌で割るのが静岡流。それを麦飯にかけて食べる料理のこと。江戸時代、ここ丸子周辺では良質な自然薯が採れたため名物となり、峠越えの旅人からは精が付くと喜ばれたとか。

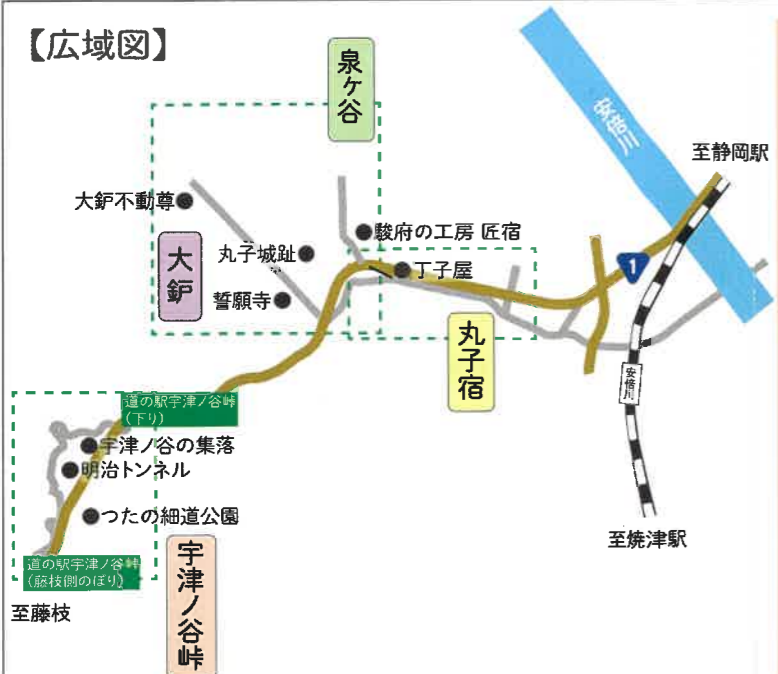


**高札場跡 こうさつばあと**  
幕府や諸藩が定めた法度や掟書を木の板札に書き、人目を引くように高く掲げておく場所のこと。実際に丸子宿に掲げられていた三枚の高札が津島神社より発見。現在は複製した三枚の高札をみることが出来る。

## 丸子路散策を楽しむための豆知識

- 【宿場/しゆくば】**  
東海道に53ある宿場。「伝馬制」という律令時代にできた宿場ごとに人馬を交代して公用旅行者や書状、物資を運ぶ制度を取り入れて徳川家康が作った。
- 【問屋場/といやば】**  
幕府や公用旅行者のために人や馬の手配を行うところ。
- 【本陣/ほんじん】**  
参勤交代の大名や勅使、公家、旗本など身分の高い人たちが休憩、宿泊するところ。
- 【見付/みつけ】**  
宿場の出入口のこと。

- おすすめスポット
- 飲食店
- とろろ
- おでん/駄菓子
- はちみつ
- 無人販売(季節限定あり)
- 駐車場
- トイレ
- バス停
- 碑
- 宿場印
- シェアサイクル PULCLE



**東海道御宿場印プロジェクト「丸子宿」**  
江戸時代に徳川家康が整備し、歌川広重の浮世絵「東海道五十三次」や十返舎一九の「東海道中膝栗毛」で知られる東海道。その道中にある名所などを描き、宿場の名を記した「御宿場印」が東京・日本橋から終点の京都・三条大橋までの計55カ所、7都府県にまたがる全長492キロすべての宿場を網羅して完成しました。御宿場印は江戸時代の宿場町の風景や現代に残る名所旧跡などがあしらわれ、地域色がふんだんに盛り込まれています。当時の宿場に思いを馳せながら、丸子宿から御宿場印を集めてみませんか。

**御城印**  
国宝松本城からはじまった御城印。丸子城にも今川氏の家紋を表したお茶染めによる御城印があります。駿府の工房匠宿のお茶染め職人が一枚一枚染め上げています。

■丸子宿における販売箇所  
丁子屋  
しらい酒店  
天神屋 道の駅  
宇津ノ谷峠下り店

2020年「日本遺産」に認定! story#094  
**日本初「旅ブーム」を起こした弥次さん喜多さん、駿州の旅**  
~滑稽本と浮世絵が描く東海道旅のガイドブック(道中記)~  
江戸時代に起きた日本初の「旅の大ブーム」の火付け役は、日本の「ガイドブックの原典」とも言われる十返舎一九の滑稽本「東海道中膝栗毛」でした。そのきっかけは歌川広重の描いた「東海道五十三次」の浮世絵。自由な移動が制限される江戸時代でも人々は美しい風景やおいしい名物を求め、物見遊山の旅へと出かけて行ったのです。200年の時を超え、今もなお、弥次さん喜多さんの「旅の楽しさ」は駿州で体感できます。富士山を仰ぎながら江戸時代の「ガイドブック(道中記)」を片手に「東海道五十三次」の「真ん中」、「旅の原点」との出会いを求め駿州を巡る旅に出かけてみませんか。

■主な構成文化財  
丸子宿名物とろろ汁、丁子屋、慶龍寺、明治のトンネル(明治宇津ノ谷隧道)、間の宿宇津ノ谷、岡部宿大旅籠柏屋、大慶寺久遠の松、府中宿名物安倍川もち、江尻宿名物追分羊羹、三保松原、清見寺、東海道名主の館(小池家住宅)、由比宿名物たまご餅、静岡市東海道広重美術館の浮世絵、志田家住宅主屋、旧和泉屋(お休み処)



### アクセス

【バスでお越しの場合】 しずてつジャストライン  
JR静岡駅からのアクセス 7番のりば/幕番号84  
中部国道線 [84] 丸子営業所経由 岡部営業所・藤枝駅行き

36分	9分	30分
藤枝駅前	逆川	新静岡
大井	赤目ヶ谷	のりば1
宇津ノ谷	赤目ヶ谷西	のりば7
坂下(岡部町)	二軒家大鉦不動尊入口	
廻り沢	吐月峰駿府匠宿入口	
	丸子橋入口	
	丸子宿	
	大鉦	
	泉ヶ谷	
	静岡駅前	

【お車でお越しの場合】  
静岡バイパス利用 「丸子IC」出口より約1分  
東名高速道路利用 「静岡IC」から約15分・「焼津IC」から約30分  
新東名高速道路利用 「新静岡IC」から約20分  
「静岡スマートIC」から約16分

【自転車でお越しの場合】  
JR安倍川駅から「丸子宿」「泉ヶ谷」まで約15分  
JR用宗駅から「丸子宿」「泉ヶ谷」まで約25分

【徒歩でお越しの場合】  
JR安倍川駅から「丸子宿」「泉ヶ谷」まで約40~50分

www.marikatsu.group  
【発行】丸子活性しょ一会



# 泉ヶ谷

駿府院と駿府の工房 匠宿  
徒歩15分

月の名所、竹の寺として名を馳せ、竹林から月現れる様子から月を吐く、吐月峰と名付けられた。寺には足利義政公がお茶を点てる際に用いた「文福茶釜」が所蔵されている。

丸子稲荷神社  
承平7年(937年)京都伏見稲荷大社から分霊を丸子の氏神様として鎮座してから1000年以上がたつ。東海道の名社として藩主・諸大名をはじめ、一般庶民の信仰も高く崇敬されたお社。

駿府の工房 匠宿  
国内最大級の伝統工芸体験施設。今川・徳川時代から静岡に受け継がれ、今も大切に伝わる駿河竹千筋細工・和染・木工・漆・陶芸・模型などのさまざまな工芸体験ができる施設。カフェ・クラブトビールも併設。

日本の紅茶 発祥の地 丸子紅茶  
徳川慶喜公の幕臣多田元吉は、インドアッサム地方で紅茶製造の技術を学び、持ち帰った原木で、日本で初めて紅茶栽培を成功させ、広大な茶園を開き日本に紅茶を広めました。丸子には多田元吉翁の功績を称える碑もあり、日本紅茶発祥の地として丸子紅茶として国産紅茶の魅力を広めています。

丸子のハチミツ  
丸子・泉ヶ谷が目にするのがはちみつ屋さん。この養蜂業を丸子に取り入れたのがここ村本養蜂場の先々代。甘味が貴重な昭和初期自分でつくろうとしたのがきっかけとか。丸子に養蜂業者を広め、そして戦後みかん栽培が盛んになり、丸子のハチミツがこの地域の特産に。

ここは古代東海道であり、要所の街道として栄えた宿場でもありました。沢沿いには今でもお寺や民家が連なり、面影や風情ある雰囲気が残ります。  
また泉ヶ谷は「花とまほろばの里」として四季折々の花が咲き誇る里でもあります。近年で駿府の工房 匠宿が工芸の里として、多くの人々が訪れる場所となっています。

大鉦不動尊  
大鉦の最奥滝の上には不動明王堂があり、丸子城で武田信玄の守り本尊となっていた愛宕山大権現のお堂と滝の周囲には300体もの地蔵が並び幻想的な空間に。毎月28日の縁日には朝市が並び多くの人で賑わう。

# 大鉦

大鉦不動尊  
大鉦の最奥滝の上には不動明王堂があり、丸子城で武田信玄の守り本尊となっていた愛宕山大権現のお堂と滝の周囲には300体もの地蔵が並び幻想的な空間に。毎月28日の縁日には朝市が並び多くの人で賑わう。

大釜山 誓願寺  
天然記念物モリアオガエルの産卵場所としても有名なお寺。徳川家康公の謀反の意思ありといわれた豊臣家の疑いを晴らすため奔走した片桐且元の墓がある。

# 宇津ノ谷峠

丸子宿と岡部宿を結ぶ宇津ノ谷峠は、東海道屈指の難所。歌枕の地としても有名な峠です。かつては薄暗く、うら寂しい峠道だったため、山賊が出没し、怪談や噂の伊勢物語にも登場する芸術家や文人墨客あこがれの地でした。古代から多くの人や物の往来を支える交通の要衝として行き交え、今では主要な道路6本と4つの時代を象徴するトンネルが残っています。

歌舞伎 『高紅葉宇津ノ谷峠』  
河竹黙阿弥の名作『高紅葉宇津ノ谷峠』は安政3年(1856年)市村座上演。三幕の丸子の宿から宇津ノ谷峠の文弥殺しを中心に演じられることが多い。



宇津山 慶龍寺  
峠にあった地蔵堂の延命地蔵尊を祀るお寺。峠に出没していた人喰い鬼を地蔵尊が退治したという伝説があり、「十団子」の風習が残る。8月23、24日は縁日で厄除けのお守りとして販売される。

明治トンネル  
レンガづくりのレトロなトンネル。明治9年(1876年)日本初の有料トンネルとして開通。貴重な建造物として平成9年(1997年)現役のトンネルとしては初めて国の登録有形文化財に登録。

宇津ノ谷の街並み  
旧東海道の面影を色濃く残す、間の宿(あいのしゆく)の家並みが宇津ノ谷集落。「立場茶屋」として御羽織屋(石川家)が近年まで豊臣秀吉ゆかりの陣羽織を展示。

鶯の細道  
宇津ノ谷峠を越える最古のルート。その歴史は古く奈良・平安時代にまで遡る。平安時代の古典文学「伊勢物語」に登場したことでも有名に。現在はハイキングコースとして楽しめる。

- おすすめスポット
- 飲食店
- とろろ
- おでん/駄菓子
- はちみつ
- 無人販売(季節限定あり)
- 駐車場
- トイレ
- バス停
- 碑
- 宿場印
- シェアサイクル PULCLE

